



スチームコンベクション オーブン デラックス

新発売



▲ガス・電気10段 (1/1ホテルパン)

快適性を追求した仕様

タッチパネル

操作パネルはタッチパネルディスプレイを採用。操作がより簡単にできます

USB ポート

専用ソフトで作成したメニューをUSBで簡単に登録できます

多段タイマー

各段ごとの調理管理ができるため、複数メニューを同時に調理できます

庫内洗浄

3段階の自動洗浄モード搭載。汚れの度合いに応じてモードが選択できます

巻き取りシャワーガン^{*1}

本体収納のシャワーガンですっきりリフォームに。省スペースで使用できます

STEAM CONVECTION OVEN
涼厨[®]コンベクションオーブン

きめ細かく
使いやすい



▲ガス・電気6段 (1/1ホテルパン)

快適な厨房を
実現できる
「涼厨[®]」仕様

機器本体の断熱構造を工夫する事によって、輻射熱を低減できたので、触っても熱くありません。

涼厨[®]のメリット 涼[®]

- 室温を25℃以下に保ち衛生的な厨房を実現
- 涼しいから空調負荷も低減
- 機器表面が熱くない、ヤケドの心配がない

*涼厨[®]仕様はガス機器のみです。

*1 オプション

タニコー株式会社

〒142-0041 東京都品川区戸越1-7-20
Tel:03-5498-7111 Fax:03-5498-7927

無料設計相談室開設中!!

www.tanico.co.jp

タニコー

検索

CURRENT NEWS

2015年9月30日発行
発行:タニコー株式会社 〒142-0041 東京都品川区戸越1-7-20 TEL:03(5498)7111
編集:株式会社メディア・ミル

VEGETABLE
OIL INK
INFORMATION

タニコーとお客さまを結ぶ最新情報通信【カレントニュース】

CURRENT NEWS

No.

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

19

20

21

22

23

24

25

26

27

28

29

30

31

32

33

34

35

36

37

38

39

40

41

42

43

44

45

46

47

48

49

50

51

52

53

54

55

56

57

58

59

60

61

62

63

64

65

66

67

68

69

70

71

72

73

74

75

76

77

78

79

80

81

82

83

84

85

86

87

88

89

90

91

92

93

94

95

96

97

98

99

100

101

102

103

104

105

106

107

108

109

110

111

112

113

114

115

116

117

118

119

120

121

122

123

124

125

126

127

128

129

130

131

132

133

134

135

136

137

138

139

140

141

142

143

144

145

146

147

148

149

</div

繁盛店のさらなる進化 食の最前(善)線を進む

顧客を離さず、更に心酔させるー。

日本経済を背負って立つ大企業が次々に好業績を発表しているー。

しかし、市場縮小が続く外食ビジネスは、一部に希望の光が差し始めたとはいえ、まだまだ全体で見れば元気が戻っているとは言いたい。

ただ、こうした依然として厳しい状況の中でも、連日多くの客を集める繁盛店は存在する。

今回本誌が注目したのは、自ら新しい食の流れ、いや、食文化を創造しようという大志を持って進化を続ける繁盛店だ。こうした“食文化を創る”の繁盛店は、いかにして繁盛を維持し、さらに進化を遂げているのか?

その最前線を取材した。

ビール市場で、 気を吐く クラフトビール

ビールの消費量は、毎年右肩下がりで減っているという。今年1月の新聞紙上には、「昨年のビール類出荷、10年連続で過去最低」という見出しが踊り、もはや「ビール離れ」は、歯止めの効かない状況と業界関係者は悲鳴

- を上げているのだ。
- このままビール市場はしぶみ続け、大衆アルコールの王様の座から滑り落ちてしまうのか、といえば、実は、そうではない。右肩下がりのビール業界で、着実に右肩上がりを続けているビールがある。それが、噂の「クラフトビール」だ。(P.3図)
- ここ数年耳にする機会が増えた「クラフトビール」という言葉。すでにハマっているという人もいるかもしれない



いが、一般的には、「聞いたことはあるけど、普通のビールとの違いがよく分からない」「大手のメーカーではないビール?」といった認識だろう。

では、クラフトビールとは何か? 読んで字のごとく、Craft (=手工芸品) のようなビールのことで、大量生産の大手メーカーとは違い、小規模なビール醸造所で職人が精魂込めて造った個性的な

ビール、というイメージだ。

クラフトビール先進国アメリカでは、きちんと定義化もされている。

日本においては、アメリカのように明確な定義化はされていないが、概ねアメリカの定義に沿って、小規模で高品質のビアメーカーの製品をクラフトビールと呼んでいる。

多数誘致し、成功させていることでも知られる飲食大手企業だ。

ワンダーテーブルの大根田正氏(営業2部マネージャー洋食ブランド統括)は、数多のヒットコンテンツを持つが、今回、クラフトビール界の雄であり、人気の牽引役であるヤッホーブルーイングと組んで新規事業に乗り出した経緯をこう語る。

「ヤッホーさんと組んで店を作ることになたのは、一言で言えば双方の夢、思惑が合致したからです。当社はおかげ様で様々なヒットレストランを経営していますが、海外ブランドの誘致も多いので、オリジナルブランドという点では、いさか心もとない。やはり、自社で立ち上げた強力なブランドを作りたい、という思いがずっとありました。そこに、『よなよなエール』で大ヒットを飛ばし、さらなる飛躍、ステップアップを図るために、ヤッホーさんがビア専門店を作りたいという話が舞い込んできたのです」

ヤッホーブルーイングが目指したステップアップとは、ズバリ大衆化だった。「よなよなエール」は、ネット通販で大ヒットを記録し、コンビニなどにも販路を広げていたが、あくまでもクラフトビールという新しい市場の中でのできごとで、ビアマニアや高感度な人々向け

[米国のクラフトビールの定義]
-Brewers Associationによる-

●Small (小規模であること)

年間生産量が600万バーレル(1バーレルは117リットル)以下であること。

●Independent (独立していること)

クラフトビールメーカー(小規模)以外の酒造メーカー(大手酒造メーカーも含む)に経済的理権の割合が25%以下であることと、所有されていないこと。

●Traditional (伝統的であること)

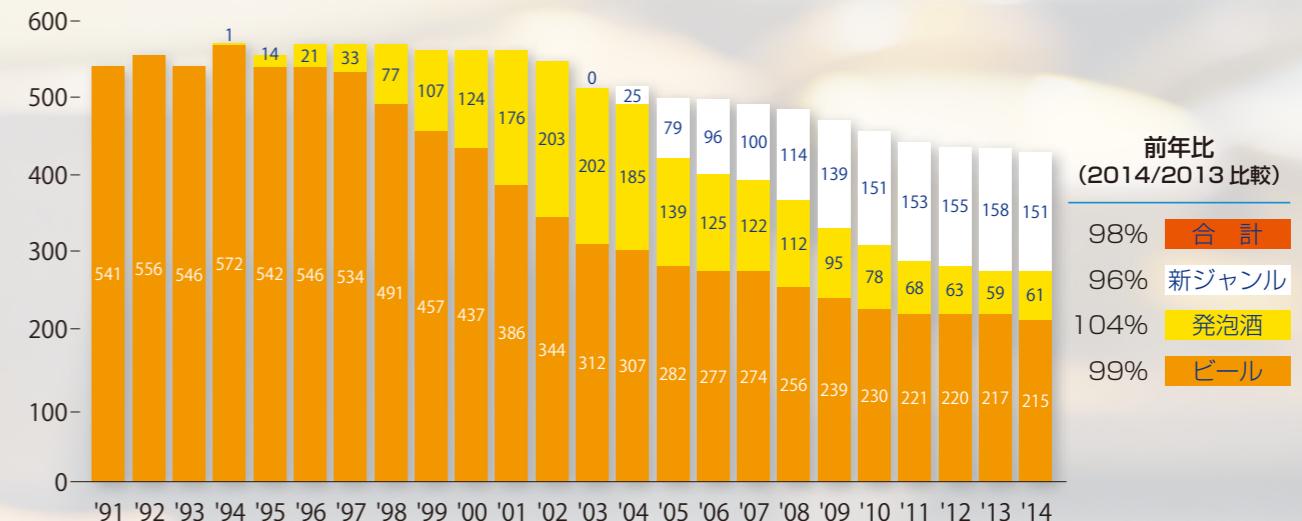
この店は、昨年赤坂に初出店し、大ヒットを記録している同名店に続く2店舗目で、赤坂店同様オーブンから絶好調。連日連夜、仕事帰りの人でいっぱいになる繁盛店となっている。運営するのは、業界大手のワンダーテーブル(本社・東京都新宿区)。ワンダーテーブルといえば、国内外に出店する、しゃぶしゃぶ・すき焼き食べ放題やイタリア料理、そして、優良海外ブランド店を

飲食大手と クラフトビールの雄が タッグを組んだ理由

今年の3月、東京神田にオープンした『よなよなBEER KITCHEN』神田店は、大ヒットクラフトビール「よなよなエール」を製造・販売するヤッホーブルーイング(本社・長野県軽井沢町)の公式ビアレストラン。

この店は、昨年赤坂に初出店し、大ヒットを記録している同名店に続く2店舗目で、赤坂店同様オーブンから絶好調。連日連夜、仕事帰りの人でいっぱいになる繁盛店となっている。運営するのは、業界大手のワンダーテーブル(本社・東京都新宿区)。ワンダーテーブルといえば、国内外に出店する、しゃぶしゃぶ・すき焼き食べ放題やイタリア料理、そして、優良海外ブランド店を

●ビール類市場規模 (百万函、課税数量ベース、5社計)



■株式会社ワンダーテーブル
洋食ブランド統括 大根田 正 氏



よなよな BEER KITCHEN 神田店（東京・神田）

の商品の域を出ることはできていなかつた。

そして、そこをブレイクするための一つの方法として、ビアマニアではない、一般の人々にアピールできる実店舗を作りたかった、というわけだ。

一方のワンダーテーブルも、ゼロから自社ブランドを立ち上げるよりも、新しい市場では、すでに知名度とブランド力を獲得しているヤッホーブルーイングと組むことで、成功の確率をグンと高めることができる。つまり、お互いの思惑が見事に一致したのだ。

大衆化、 フツーの人たちに こだわった理由

ヤッホーブルーイングは、前述のようにビアマニア以外の新規顧客の掘り起こしを狙ったのは分かるが、すでに飲食で成功を収め、顧客を掴んでいるワンダーテーブルの従来の客層とはいささか異っているように感じる。

「確かに、当社の誇りとした海外ブランド店に通っていたいいる客層と、『よなよなBEER KITCHEN』で狙った客層は違います。それは、同じではヤッホーさんのクラフトビールを大衆化することとは真逆になってしまふからです。それと、ワンダーテーブルとしても、得意とするアッパーな客層ではなく、本当

に普通のサラリーマン、OLさんに、どこまで勝負できるか、大衆化できるかに挑戦してみたかったのです」（大根田氏）

料理と共に ずっと飲める クラフトビールの 奥深さ

ワンダーテーブルが『よなよなBEER KITCHEN』神田店の出店で、徹底的にこだわったのは料理だった。

赤坂店でも好評だったビールに合う本格的なローストチキンに加えて、ヤッホーブルーイングのオリジナルビールの全てにそれぞれおすすめのソーセージを揃えて提案。とりわけ、ソーセージにおいては、ハーブやスパイスをいかしたものや、イカを使用したシーフード系など、12種類を取り揃えており、専門店ならではのフードを充実させ、ここでしか体験できないクラフトビールの楽しみ方を提供することに成功している。

この店では、ビールに合わせて料理選び、逆に料理に合わせてビールを選ぶという、ワインのような奥深い楽しみ方ができるのだ。

料理というストロングポイントに更に力を注ぐことで、リピーターを飽きさせず維持し、さらなる顧客獲得へも力を注ぐという明確な戦略が見て取れる。

クラフトビールが シェア1%を超えたたら、 新しい文化となる

ここ数年は、ある種のブームとなっているクラフトビールだが、大根田氏によれば、日本市場においてはまだまだ潜在的な市場開拓の余地があるという。「クラフトビールが一つの文化となっているアメリカでは、ビール市場のシェアは約11%、12兆円を占めます。クラフトビールメーカーの売上を合算すれば、あのバドワイザーを凌ぐ。ところが日本では、最近売れていると言っても、全体からすればシェアはわずか0.4%、売上は140億円弱です。一番知名度が高いであろう『よなよなエール』でさえ、その認知度は30%なんです。私たちは、現在0.4%のシェアを、まずは1%、200億円まで持って行きたいと考えています。潜在的には5%までは成長すると考えていますが、まずは1%をとることで、クラフトビールは大衆化し、新しい日本の文化になるでしょう。そして、それを達成するための鍵が、『よなよなBEER KITCHEN』の成功、今後の展開だと思います」

直近の目標としてワンダーテーブルが挑むのは、2020年、東京オリンピックまでに、クラフトビール専門店としての売り上げナンバーワンだ。

現在、トップは都内に7店舗を展開し

ており、ワンダーテーブルはその後塵を拝する形になっている。しかし店舗ごとの売上高を見れば売上は多く、今後の出店スピード如何では、目的達成は充分可能だろう。

『よなよなBEER KITCHEN』は、クラフトビールを大衆化し、日本の新しい文化にするという大きな目標を掲げているが、先に述べたように、個別銘柄毎にベストマッチングの料理を提供するなど、すでに、日本のビール史における新しい文化を創造していると感じる。

ラーメン界の風雲児 麺屋武蔵のDNAは 変わり続けること

新しい食文化の創造、という視点で日本の外食業界を眺めてみると、やはり外せないのは、ラーメン業界ではないだろうか。

全国には、個性的でバラエティに富んだラーメンが存在するが、それが、常に進化を続けているのが、ラーメン界の興味深いところ。これを食文化の創造と言わばして、何をか言わんや、である。

様々な進化を続けるラーメン界にあって、エポックメーキングなできごとは数多くあるが、味のみならず、ラーメンの様式をも変えてしまった、つけ麺の台頭はある種の事件と言ってもいい。

つけ麺の発祥は諸説あるが、昭和50

年代に「大勝軒」が“もりそば”として商品化したとする説が有力。その後幾度かのブームを経て、2000年代に入るべく、今日まで続く一大ブームが巻き起こる。その牽引役の一つが、麺屋武蔵（京都新宿区）である。

1996年に東京青山で開業した麺屋武蔵は、元々アパレル業界出身の創業者が、師匠もなく全くの独学でオープンさせた異色のラーメン店。サンマの煮干しを使ったスープ、エビ油や柚子の皮を使うなど、当時はほとんど認知されていなかった、斬新なアイディアで人気を博した。

「麺屋武蔵が常に新しいこと、誰もやっていないことにこだわるのは、創業者のDNAでしょうね」

こう語るのは、麺屋武蔵の2代目社長・矢都木二郎氏。

麺屋武蔵は、現在、都内に14店舗を開設するが、その多くが麺屋武蔵の後に、ダブルネームと称する個店名を付属した屋号で営業している。

新しいメニューは、 社長の試食なしで 決める！

飲食チェーンのメニューといえば、本部が決め、それを各店舗に徹底させるのが常であることを考えれば、かなり珍しい経営戦略と言える。なぜこのような



個店主義とも呼べる自由な経営を行っているのか？ 矢都木社長に聞いた。「まず、麺屋武蔵という会社自体が、人の力を信じるというのがコンセプトなんですね。『個を敬い、けいをむねとす』が社訓。人間が一番力を発揮できるのって、何かを任され、信じてもらった時じゃないですか。であれば、あれやれこれやれって、会社が指示するのではなくて、好きなようにやってみろ、と人を信じて店を1軒任せたほうが、働く人間もやりがいがあるし、経営的にも結果が残せると考えているんです。うちは店長じゃなく、あえて「店主」と呼んでいますが、彼らは一人ひとり実際に個的ですよ。そうした色々な個性が手をつないで1つになった時に、会社としてもすごい力を発揮するはず。麺屋武蔵って会社は、そんな人の力を信じているんです」

麺屋武蔵は、革新的なメニューを定期的に発表し、業界をその都度驚かせているが、実は、こうした新しいアイディアは、全て個店の店主がそれぞれ考

味 覚 逍 遙 「こだわり厨房」 お見せします !!

料理にこだわる、ビアレストラン の本格厨房

よなよな BEER KITCHEN 神田店 (東京・神田)

 所 東京都千代田区神田須田町 1-24-6 ACN 神田須田町ビル
☎ 03-5289-4747 HP <http://www.yonavonabeerkitchen.com/kanda>

敷居の高かった クラフトビール専門店 の殻を破る

今年3月に華々しくオープンした『よなよなBEER KITCHEN神田店』は、『よなよなエール』の大ヒットで知られる国内最大級のクラフトビールメーカー・ヤッホーブルーイングと、『ロウリーズ・ザ・プライムリブ』『ユニオンスクエア東京』『バルバッコア・グリル』など、海外優良ブランドとの提携店でヒットを飛ばす業界大手のワンダーテーブルのコラボで生まれたビアレストラン。

この店は、一昨年に一足早くオープ
ンし、大ヒットしている赤坂店に続く、
ヤッホーブルーイング直営店舗第2弾
としてメディアに取り上げられることも
ありますが、正確には、ワンダーテー
ブルが運営するヤッホーブルーイング
の公式ピアレストランということになります。

支配人でビアソムリエでもある吉田智宏さんは、店のコンセプトについてこう教えてくれます。



ピア専門店らしく、食とのマッチングなど豊富な知識、サービスを持ちながらも、「誰もが気軽に来店できる店を目指す」と語る、吉田智宏支配人



内装イメージは「醸造所」の中にある〈キッチン〉。ナイフのビアタブが目を引く



店オリジナルのもの含め、ビルの銘柄ごとにマッチングのいいソーセージを提供する神田店。サラマンダーとグリルで豪快に焼き上げた、ロティサリーチキンは、ワンダーテーブルのオリジナルの味



り、店内も静かで落ち着いた雰囲気で、マニア以外にはちょっと入りづらい、敷居が高いというイメージもありました。しかし、『よなよなBEER KITCHEN』は、クラフトビールのビールの醸造所をイメージした、明るいNYスタイルのピアレストランで、マニアだけでなく、まさに誰もが気軽に立ち寄れる気軽さを巧みに演出していました。

美味しいビールと料理
が演出する、ここでし
かできない感動体験

店に入ってまず目につくのは、オー

「マニア以外の方にも来店してもらうためには、ヤッホーさんの美味しいビールをドラフトで提供するだけではアピールが足りません。よなよなエールは、コンビニやネット通販でも買うことができるのです。つまり、この店に来なくてはできない楽しみ方、感動体験が提供できて初めて、ワンダーテーブルが店を出す意味がある」と、語るのは直行寺賢一料理長。

それだけに、厨房づくりには厳しい注文を出したそうです。

ワンダーテーブルの人気店「ローストチキンハウス」から、よなよな BEER KITCHEN 2店舗の料理長となった真行寺賢一料理長

、期間限定、商品化前のテストビーコンなど、レアなビールがドラフトで楽しめるのも大きな魅力ですが、銘柄ごとおすすめのソーセージや料理なども提案しています。それは、この店に来ないと運ばなくては味わうことのできないビールと料理のマッチングを楽しむ、という感動体験を提供するためにかなりません。

店以来、この店には日本全国から
お客様がいらっしゃってくださいます。
一段はヤッホーさんのビールを自宅で
しんでいる方々が、本物を飲みに来
よ、と寄ってくださるのです。この店
は、こうしたファンの方を失望させて
ならない、というプレッシャーもあり
ます。同時に、ビールに合う料理やサー
ブの提供で、よなよなキッチンのファ
ニもなつていただこうと大きなやり
いも得ています！

支配人がこう語るように、確実に
のファンを作り、リピーターを増やし
いる神田店。実は、話にあった日本
国から訪れるヤッホービールファン
加えて、秋葉原から流れてくるいわ
るアキバ系の人々にも支持されてい
す。ネットなどを駆使し、常に新しい
報にアンテナを張っている彼らが、
地秋葉原を訪れた後、歩いて寄れる
の店に来店するヘビーリピーターと
っているのです。

こんなことからも『よなよなBEER
CHEN神田店』が、誰もが気軽に立ち寄れる、クラフトビール専門店として
されていることが分かります。



味覚逍遙

「こだわり厨房」
お見せします!!

こじょう
麺屋武藏 虎嘯 (東京・六本木)

DATA 電 東京都港区六本木 4-12-6 ☎ 03-3497-0634
HP http://www.menya634.co.jp/tenpo_ichiran/kosho/

厨房やそこで働く
スタッフも含めて、
一つの商品

日本を代表する国際都市六本木。世界中の人々が集うその街は、世界一流の名店がしのぎを削る食都でもあります。

その中でも、今や日本食と言っても過言ではないほど進化を遂げたラーメンも、北は北海道から南は九州まで、日本各地の名店がここ六本木で激戦を繰り広げているのです。

「六本木だから外国人客が多いでしょうね？」とよく言われるんですが、実は、うちの店はさほど外国人客比率は高くはありません。通りから奥に入っているという店舗の立地もあるでしょうが、やはり、麺屋武藏のファンの方、つけ麺好きのお客様が圧倒的に多いですね」

こう語るのは、つけ麺でラーメン業界に革命を起こした、あの麺屋武藏のグループ店『麺屋武藏 虎嘯』の番頭(店主)齊藤徳治さん。

麺屋武藏のグループ店は、店名に



「現状で満足したらそこでおしまい」と語る、
齊藤店主

魅せることにこだわり抜いた、舞台厨房



舞台厨房中央に鎮座する大型のスチコンはインパクト大



低輻射仕様のスープレンジは、厨房環境の改善のみならず、空調費などのコスト削減にも効果がある

麺屋武藏という屋号、そして、スタイルリッシュな店舗設計や女性客にも配慮したきめ細かなサービス・清潔感などは共通しています。しかし、六本木店が虎嘯、上野店は武骨(ぶこつ)、神田店は神山といった具合に、それぞれの店がダブルネームを名乗っているように、メニュー構成や営業方針に関しては、各店舗の店主が独自に行っていけるという稀有なラーメンチェーンなのです。

「虎嘯では、厨房は舞台、スタッフは役者だと考えています。味にこだわるのは当たり前ですが、厨房やそこで働く

スタッフも含めて、一つの商品。そして、それは日々進化していかなくてはなりません」(齊藤店主)

確かに、カウンター席からも見やすいように、一段高く設えた厨房は、細部まで磨き上げられ、使用感が強い普通のラーメン店の厨房とは全く違う美しい舞台セットのよう。更に、威勢よくキビキビと働くスタッフは、役者と呼ぶにふさわしい所作の美しさを感じます。

『麺屋武藏 虎嘯』の厨房作りを任せられた、タニコー東京営業所(営業1課リーダー)の三浦修大さんは、店の厨房についてこう語ります。

「虎嘯さんの厨房は、とにかくお客様



一番人気は、やはりつけ麺！ 濃い目のスープで一気に麺をかっこむつけ麺スタイルは、今やラーメン人気を凌ぐ勢い



から見られているということを徹底的に意識しています。一言で言えば、『見せるところはキレイに見せて、隠すところはきちんと隠す』ということになるのでしょうが、そのこだわりは並外れています。一つエピソードを紹介すると、ゴミ箱が客席から見えて美しくない、なんとかならないか、と(笑)。いろいろ考えた末、オーダーでステンレスの扉を作ることでそれには対応いたしましたが、こうした美意識から生まれるこだわりのオーダー製品が他にも幾つもあり、結局規格品をそのまま使ったところはほとんどない、というのが虎嘯さんの舞台厨房なのです」

最新機器の導入は、常にチャレンジし続けるため

厨房機器に注目すると、やはり人目を引くのは、舞台中央に存在感たっぷりに鎮座するスチームコンベクションオーブンでしょう。

「虎嘯では、チャーシューをスチコンで調理しています。通常チャーシューは、鍋で豚肉を煮て作るわけですが、それ

「麺屋武藏では、比較的新しい店舗ではスチコンがデフォルトになっています。評判のいいチャーシューに加えて、麺屋武藏と言えばやはり限定メニューですから、革新的なメニュー作りにも、当社のスチコンを使っていただけるのは光榮です」(タニコー・三浦さん)

だとどうしても肉の旨味が流れ出でてしましますし、仕上がりにもバラつきができるかもしれません。その点スチコンで作るチャーシューは、常に最高のコンディションで焼き上げができるので非常に重宝しています。また、新メニューのアイデアを練るときにも、様々な調理方法ができるスチコンは、欠かすことのできないパートナーですね」(齊藤店主)

さらに厨房を見回すと、ラーメン店ではお馴染みのスープレンジは低輻射の仕様、ゆで麺器も最も火力の強い製品を採用するなど、調理機器の充実には目を見張るものがあります。

「低輻射のスープレンジは、どうしても高温になりやすいラーメン店の厨房環境の改善。ゆで麺器は、特盛り(1kg)の麺を複数同時に入れても湯の温度を下げる事なく、短時間で茹で上げる、という明確な目的があるので」(タニコー・三浦さん)

もちろん、こうした目的の先にあるのは、お客様に最高の一一杯を提供したい、常に革新的で新しいものにチャレンジしていきたいという麺屋武藏の熱い思いです。

「店も味も現状で満足したらそこでおしまい。だから、常に新しいチャレンジを続けます」と、齊藤店主は高らかに宣言します。

活気ある舞台厨房で、躍動する役者たちが美味しい進化を目指し続ける限り、麺屋武藏は繁盛店として輝き続けるのでしょう。



繁盛する理由
厨房でも
見つけました

2人3脚で作りあげた、 新しい提案がいっぱいの ブック・カフェ店

新しい飲食業態として、コーヒーを飲みながら店内に並ぶ本をじっくり読むことできる「ブック・カフェ」はすっかり定着。この数年は、大手カフェチェーンも本格的に事業化に乗り出すなど、その勢いは増すばかりです。

今年の4月にオープンしたばかりの『ペーパーウォールカフェ nonowa 国立店』は、地元の本屋さんとして愛されてきたオリオン書房（万田商事株式会社）の「ブック・カフェ」。はやくも国立駅の新しいランドマークとなったこの繁盛店はいかにして作られたのか？ 国立店店長の今井秀和さんとタニコー株式会社 堤博人さんに、その誕生ストーリーを伺いました。

ペーパーウォールカフェ国立店では、先にオープンした立川とは違った食メニューのアプローチを考えていたので、どんな厨房機器があつて、どんなものが作れるのかをリサーチのため展示会でかけました。そこで、タニコーさんの展示ブースに入り、堤さんと出会いました

▶ペーパーウォールカフェ 今井店長

1 展示会での商談 2014.June
厨房作りのパートナーを求めて
訪れた展示会でタニコーに会う



▲カフェや喫茶店に関する専門展 タニコーも出展している



実は、私は地元が立川で、オリオン書房さんはもちろん、立川駅ナカのブックカフェさんもよく知っていました。今井さんのお話では、国立は立川とは違う立地条件なので、イベントなど、いろいろと新しいことをやりたい、とのお話をいただきましたので、厨房にとどまらず、店の食提供のコンセプトも含めた提案をさせていただきました

▶タニコー(株) 堤博人

2 機器の選定・設計の提案 2014.July
立川店とは違う、
カフェテリア形式のセルフ店に！



▼限られた厨房でも調理スペースとスマートな動線を確保

▲グリルにレンジ、スチコンなど、本格的な厨房機器を導入している

国立ではカフェテリア形式のセルフ店にしました。そこで、タニコーさんにセルフ店の厨房や、オペレーションについて細かなアドバイスをいただきました。実は、この時点ではタニコーさんに厨房を発注するか決定していませんでしたが、私としては、レスポンスの早さ、的確さ、経験、どれをとってもタニコーさん以外にお願いできる業者はいないと考えていました

▶ペーパーウォールカフェ 今井店長

セルフ店は、やはり調理時間が非常に大切になりますから、機器の選定、ストックスペース、そして、厨房内のオペレーションなどを説明し、メニューごとにどれくらいの調理時間がかかるか、調理スタッフの動線など、かなり細かな提案をさせていただきました。立川店では、非常にこだわった、質の高い食提供が好評でしたから、それを裏切ってはいけないという思いでご提案しました

▶タニコー(株) 堤博人



ペーパーウォール
カフェ
nonowa 国立店
(東京・国立市)

DATA

所 東京都国立市北1-14-1
□ 042-843-0361
營 [月~金] 7:00 ~ 22:00
[土・日・祝] 7:00 ~ 21:00
(無休)

▼時には担当設計も交えて、オープンまでにした打ち合わせは数えきれない



3 急遽の変更 2014.September

3 社緊急打ち合わせで難局をクリア

厨房の場所が急遽移動という緊急事態が発生していました。施設側への図面提出期限も迫っており、かなり慌てましたが、タニコーさんに相談すると、店舗設計のデザイナーさんを交えて打ち合わせをすることとなり、その難局を乗り切ることができました。その後の役所関係の提出書類は、タニコーさんにチェックしてもらつたので、安心して進めることができました

▶ペーパーウォールカフェ 今井店長

新しい店舗を作る時には、いろんなトラブルがつきものですから、「厨房の位置が変更になった」とのご相談をいただいた時も「大丈夫です」とお答えしました。ただ、やはり納期が迫っていましたので、私だけでなく、当社設計担当も呼び、店舗デザイナーさん、今井さんと一緒に打ち合わせをして、時間短縮を図りました。この頃の口癖は、「絶対に間に合います！」でした（笑）

▶タニコー(株) 堤博人

4 グランドオープン

2014.April

本屋さんの「ブック・カフェ」誕生！



▼オリオン書房厳選の本を読みながら過ごせる落ち着いた店内



▲本格的な料理を提供できるセルフ店として、好評を博している



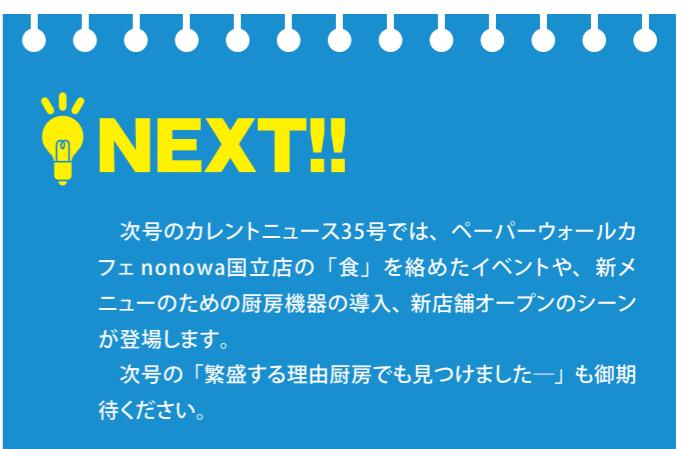
オープンを迎えた時は、本当に感無量でした。タニコーさんをパートナーに選んでなければ、どうなっていたか、考えるだけでも恐ろしいです（笑）

▶ペーパーウォールカフェ 今井店長



色々とありましたが、担当したお店が繁盛している様子を見ると嬉しいものです。しかし、「オープン＝終了」ではないので、今後もサポート하겠습니다。

▶タニコー(株) 堤博人



次号のカレントニュース35号では、ペーパーウォールカフェ nonowa 国立店の「食」を絡めたイベントや、新メニューのための厨房機器の導入、新店舗オープンのシーンが登場します。

次号の「繁盛する理由厨房でも見つけました」も御期待ください。

タニコーシステムキッチンショールーム リニューアルオープン!

“新製品展示中”システムキッチン ショールームが大盛況!

2015年7月、リニューアルオープンを果たしたタニコーのシステムキッチンショールーム（東京都品川区タニコ一本社1階）。キッチン・オブ・ザ・イヤーを受賞するなど、高い注目、評価を得ている、タニコーのシステムキッチン製品を、実際に見て・触れて『初めて分かる』体感型のショールームは、早くも大きな話題となっています。



見て触らなければ分からない、 圧倒的な質感、存在感を体感！

「カタログやWEBの写真だけでは感じることのできない、タニコー製品の良さを、見て触って体感してほしい」。

こんなモノづくり企業としての熱き思いをカタチにしたのが、タニコーのシステムキッチンショールームです。

リニューアルとともに展示された

のは、7月27日に発売したばかりの2つのDGシリーズ。

【DG-E-エレガント】は、ステンレス加工技術を駆使した優雅で繊細な最上位モデルです。

キッチン全体を包み込むような、丸みを帯びたステンレス天板が印象的な製品で、柔らかなキッチンを実現。光のあたり方によって様々な表情をみせる新面材OFB(Optical Flare Black)は、鏡面ブラック

クステンレスに意匠研磨を施すことで「ゆらぎ」を表現しています。

もう一つのDG【DG-A-アドバンス】は、DGシリーズのミドルラインでありながら、他では真似のできないステンレス加工技術が随所に施された最新モデル。

通常のブラックステンレスとは異なった風合いをみせる新面材CHB(Cross Hairline Black)は、ヘアラインをクロスにかけたステンレスをブラックにすることでマットな

印象となっている。さらに、高度な技術を要するテーパーシングは、今までのシンクとは異なる魅力的な表情を見ています。



システムキッチンショールームは、7月のオープン以来、連日多くのお客様が訪れ、早くも大盛況となっていますが、ショールーム担当者によれば、来場された方が驚かれるのは、その圧倒的な質感、存在感だといいます。

実物を見て、触って、初めて分かる本物の良さ。みなさんもシステムキッチンショールームでタニコー製品の実力を体感してみませんか。

“使って、感じる”次世代ショールーム の新設で、地域の活性化を！

リニア中央新幹線開業（2027年予定）を見据えて、早くも大きく動き出している名古屋地区。高層ビルの建設ラッシュが続く駅周辺の再開発はもちろん、開通すれば、東京までわずか40分となる首都圏との一体化など、地域全体の活性化を目指した街づくりはすでに始まっています。

そんな熱い街・名古屋に、来年新設予定のがタニコー名古屋営業所。もちろん、テストキッチンを備えた、次世代型の“使って、感じる”ショールームも併設されます。



※完成イメージ

2016年
タニコー
名古屋営業所
新設！

名古屋営業所
の概要

2016年、愛知県名古屋市北区に新設予定。
テストキッチンを含む、次世代ショールームを併設。延べ床面積：918.21m²。